

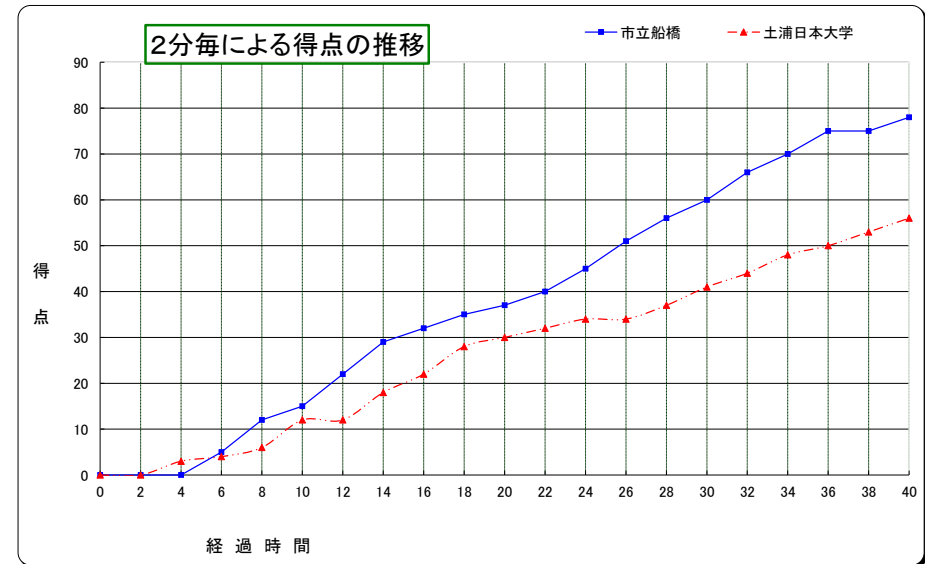
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月12日(日)
春日部ウイングハット
準決勝

チームA 市立船橋 (千葉)	78	{	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>15</td></tr> </table>	15	1st	12	22	2nd	18	23	3rd	11	18	4th	15	}	56	チームB 土浦日本大学 (茨城)
15	1st	12																
22	2nd	18																
23	3rd	11																
18	4th	15																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	19	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	保泉 遼	24	4	17	6	8	0	0	3	0	7	4	4	1	6
5	庄司 理宇	3	0	0	1	5	1	2	2	3	1	0	3	0	2
6	葉丸 侑平	4	0	4	2	3	0	0	4	0	6	1	3	0	3
7	野崎 由之	35	8	19	4	5	3	3	1	3	6	1	5	2	4
8	後藤 恵梧	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
9	星野 怜	0													
10	佐々木賢太	0													
11	長根 泰斗	0													
12	衛藤 崇	0													
13	市場 遥樹	0													
14	兼重バトリック	10	0	0	3	5	4	5	3	6	12	4	1	0	5
15	三上 颯斗	0													
16	富田 将希	0													
17	碓氷 真吾	0													
18	大澤 響生	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
コーチ	近 藤 義 行	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
		78	12	41	17	27	8	10	14	15	33	12	16	3	23
		確率	29.3%		63.0%		80.0%			計 48					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	高原 晟也	0													
5	吉田 崇紘	4	0	0	2	6	0	0	2	3	3	2	1	0	5
6	新山 航希	17	0	0	6	14	5	7	0	5	9	1	0	0	4
7	高橋 海	1	0	4	0	5	1	2	0	1	0	1	4	0	5
8	細割 駿佑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	小針 裕弥	0													
10	山崎 凜	8	0	3	4	10	0	0	3	3	3	0	2	0	3
11	山本 純也	3	1	10	0	2	0	0	3	1	3	1	2	0	3
12	坂本 大悟	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
13	下山 武人	0													
14	宮澤 亘	23	1	2	10	15	0	0	3	2	1	4	1	0	1
15	吉村 公汰	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	飯野 椋太	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	佐藤 称央	0													
18	白銀 剛人	0													
コーチ	佐 藤 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1
		56	2	21	22	53	6	9	11	18	22	9	11	0	22
		確率	9.5%		41.5%		66.7%			計 40					



戦評

第1P 市立船橋はマンツーマンディフェンス、一方土浦日大は2-3ゾーンでスタートする。序盤、両チームとも硬さからミスが多く、一進一退の攻防。試合が動いたのは、試合開始3分後、土浦日大#7のドライブに対してファールがありフリースロー。これも2本決めきることができない。市立船橋は、ゾーンを攻略できず、ターンオーバーが続き得点できない。土浦日大は、#11が激しいディフェンスでプレッシャーをかけるが2ファールで交代するが、#6の個人技で得点を重ねる。一方、市立船橋は残り時間4:00で2-3のゾーンに変更する。土浦日大もゾーンに対してすぐに対応できず、ターンオーバーが続き点数が止まる。市立船橋は、逆に#4のジャンプシュートや#7の3Pで得点し 15対12で終了。

第2P お互いゾーンでスタートするが、市立船橋は#4の3P、#7のバスケットカウントや#5のオフenseリバウンドからのゴール下を確実に決めて点差を広げる。土浦日大は、3Pを3本連続で落とし、リズムがつかめない。残り時間8:00土浦日大がタイムアウト。#6のオフenseリバウンドなどセンター陣がリバウンドを獲得し、#10が連続得点に成功する。市立船橋は、この時間帯ターンオーバーが多く、土浦日大#14に連続スティールを許し得点をされてしまうが、市立船橋は素早いパス回しでノーマーズを作り#7、#4の3Pで得点を重ねる。残り時間1:06で市立船橋がマンツーマンに戻し、ミスを誘うが土浦日大#6のゴール下シュートが決まり37対30と市立船橋リードで前半終了。

第3P 土浦日大は激しいディフェンスに対して難しいシュートが続き得点できない。一方、市立船橋は#7の3Pや#14がリバウンドを頑張り、着実に得点を重ねてリードを広げる。残り時間4:47に土浦日大がタイムアウトを取るが流れを掴むことができない。市立船橋は、ディフェンスの勢いを止めることなくミスを誘い、#6のレイアップや#4、#5が得点し60対41とリードを広げて終了。

第4P 開始すぐに土浦日大#11が3Pを決めるが、市立船橋も#7の3Pで応戦する。さらに、#14が前半同様に積極的にリバウンドに参加し、得点につなげる。土浦日大が4:28にタイムアウトを取り#6や#14が応戦するが、市立船橋の攻守の勢いは弱まることなく、78対56で市立船橋が勝利し、決勝進出を決めた。

記入者: 塩川優太